

ばななぐみだより



社会福祉法人まほろば　湊こども園
R８．１０．５　発行

　夏の厳しい暑さも終わり、秋の訪れを感じられるようになってきました。
「あさ　さむかったから　これきてきた」と上着を羽織って登園したり、長袖の衣服を着たりするなど、気温の変化に気付く子どももいます。
また、新年度がスタートして早いもので半年が経過しました。「明日は９月最後の日だよ」と毎月の最終日を子どもたちに伝えると「はや～っ！」と返事があります。４月は保育者を介して遊ぶことが多かったのですが、最近は友達を誘い合い、同じ目的を持って遊ぶ楽しさを味わったり、友達への関心がさらに高まり、集団での遊びが盛り上がったりしています。ぶつかり合いをくり返しながらも、絆を深めている姿にこの半年の大きな成長を感じています。「友達がいるからがんばれる」「仲間と一緒だからたのしい」という経験をたくさん積み重ねられるよう、互いを認め合いながら後半の半年間も一日一日を大切に過ごしていこうと思います。

自分らしく自由にみんな輝こう　運動会

　９月は雨の日が多く、園庭で遊ぶことができなかったり、思うように運動会の練習ができなかったりなどしましたが、体育教室やホール・保育室でできることをコツコツと行なってきました。
　器械体操の取り組みでは、「あともうちょっとやな」「すごーい！」「できたね！！」と、友達のがんばりを自分のことのように喜ぶ声が聞こえてきます。逆上がりや跳び箱などができると、周りで見ていた子どもたちから自然と拍手が沸き起こり、成功させた子どももちょっぴり照れくさそうに、でも嬉しさをしっかり感じていました。また、友達のがんばる姿が「自分もがんばるぞ！」というパワーにつながっているようで、心も体もひと回り大きくなってきました。
　パラバルーンでは、「友達と息を合わせること」を大切にしています。最初は、自分だけの動きに夢中だった子どもたち。練習を重ねていくうちに、「はやくうごいたら　だめだよね」「みんなでまるくなると、きれいなおうちになるね」と、周りを意識して動けるようになってきました。みんなでタイミングを合わせて一つの技が成功した瞬間には、「おお～！」「はなびめっちゃたかくあがったよな」とクラスのみんなで大喜びしていまいした。友達と力を合わせる心地良さを、日々肌で感じているようです。
　リレーでは、ただ走るだけでなく『ルールを守って競い合う』という楽しさや、負けて悔しい気持ちを味わっています。リレーのバトンを落としてしまったり転んでしまったりすることもありましたが、すぐに立ち上がり、一生懸命にバトンをつなごうとする姿に感動しました。また、自分のチームはもちろん、友達が走っているときも「がんばれー！」「いけー！！」と、全力で応援している子どもたち。周囲の友達に関心を持ち、みんなで一つの目標に向かってがんばるという『仲間意識』がグッと深まってきたことを実感しています。
　運動会本番では、勝敗だけでなく、クラス一丸となって取り組む子どもたちの熱い姿に、ぜひたくさんの声援をお願いいたします。



